

■橋俊綱 歌人。関白頼通の子。大邸宅(伏見亭)を建設、歌会の主催など、得意の場になるが、焼亡まもなく没した。

たちばなのとしつな

平忠常の乱始1028=

藤原道長死去の翌年、その子の関白頼通の子に生まれる。母は源種成の娘祇子で、以前道長夫人源倫子の女房をしていたらしい。まもなく橋俊遠の養子となり、定綱・忠綱らと兄弟になる。

平忠常の乱終1031= 3歳：同母弟覚円が誕生。

僧徒乱闘始・1035= 7歳：賀陽院水閣歌合。
.....1036= 8歳：同母妹寛子が誕生。
.....1037= 9歳：
.....1038=10歳：源大納言師房家歌合。

.....1041=13歳：弘徽殿女御歌合、源大納言師房家歌合。
.....1042=14歳：同母弟師実が誕生。

.....1044=16歳：異母兄通房が死去。

.....1046=18歳：
.....1047=19歳：この頃、*眺望の勝地に自ら指揮して庭園有する{伏見亭}を建設、歌会を始め、風雅の士や女房らが来遊交流する生涯得意とする場となって行く。

.....1048=20歳：倫子百和香歌合。

.....1049=21歳：内裏歌合。

.....1050=22歳：六条斎院謀子内親王歌合、祐子内親王歌合。_橋俊綱家歌合。妹寛子が入内し女御となり、

前九年の役始1051=23歳：源経信に誕生した俊頼を養子とする。さらに立后、実母祇子は日蔭者から一気に地位が上がり、早くから父頼通の家司だった源隆国は皇后宮大夫になり、自らも尾張守に任じられた。
_母紙子が死去(従二位追贈)。

平等院鳳凰堂1053=25歳：_天皇が冷泉院より四条宮第に遷御し、俊綱宅寝殿を南殿とする。

.....1054=26歳：_天喜荘園整理1055=27歳：源経信に誕生した俊頼を養子とする。この頃、尾張守から丹波守に転じ、

天喜荘園整理1055=27歳：源経信に誕生した俊頼を養子とする。この頃、尾張守から丹波守に転じ、
.....1056=28歳：*歌人としてよりも評者として認められ、皇后宮春秋歌合で、左念人となる。
おそらく父頼通の配慮で、源隆国の娘と結ばれ、子家光が誕生、家忠の養子にする。源隆国の娘が妻と考えられるが不明、別に、女子も設けている。

.....1058=30歳：法成寺の宝蔵が焼失、これ以前に、俊綱・頭綱が宝蔵本万葉集を書写している。

.....1061=33歳：丹波守の任が終る。

前九年の役終1062=34歳：

.....1064=36歳：_父頼通が隠居。

.....1066=38歳：播磨守となり、

.....1067=39歳：椋子内親王歌合。

.....1068=40歳：備中守定綱朝臣家歌合。この前後に四位に叙されたか。

後三条天皇・1068=40歳：この頃、讃岐守に転じ、

延久荘園整理1069=41歳：源俊男に誕生した師頼を養子とする。

延久陸奥合戦1070=42歳：椋子内親王歌合。

.....1071=43歳：同母弟師実が源頼房の娘賢子を養女とし、

後三条天皇死1073=45歳：

藤原頼通没・1074=46歳：*父頼通が死去。賢子が白河天皇の中宮となり、以後、急速に白河後宮に接近して行く。

.....1076=48歳：近江守となり、

.....1077=49歳：殿上歌合。内蔵頭に任じられるが、

.....1078=50歳：病の俊房のために大般若経を誦経。辞して、修理大夫となり、

.....1079=51歳：晦同後番歌合。_俊綱宅で、藤原忠実が誕生。内裏歌合でも、出詠歌人でなく、右方人を務める。

.....1080=52歳：中宮賢子が俊綱里第で善仁親王(堀河天皇)を出産。_但馬守に任じられ、

.....1081=53歳：中宮権大夫俊明、権亮公実とともに、勳賞される。_俊綱邸が度々里内裏東宮御所となる。

.....1082=54歳：但馬守を終わって以後、修理大夫のみ続ける。左衛門督師忠の子着袴にあたり、饗に列す。正四位上となったか。_ {伏見亭} で管絃の遊を開き、経信実政らが集る。

後三年の役始1083=55歳：提子内親王歌合。

.....1084=56歳：中宮賢子、続いて忠綱が死去。

院政始.....1086=58歳：_通俊が「後拾遺和歌集」を撰進、伏見亭歌会での作品も多く選ばれている。

.....1089=61歳：太皇太后宮寛子扇歌合。

.....1091=63歳：六条水閣曲水詩鏡。

.....1092=64歳：定綱が死去。

.....1093=65歳：再び近江守となる。_提子内親王が郁芳門院となり、その殿上人となる。郁芳門院根合。長く誇ってきた{伏見亭}が焼亡すると、

清衡平泉居城1094=66歳：*郁芳門院の臨時七社への奉幣に際し、命をうけ、大内記在良に告文を草させたり、白河院女院の賀茂祭御見物に供奉したりするも、妻が死去してまもなく、没した。